

JAC創立100周年記念国内登山(中央分水嶺踏査)の山行報告書

(1)～(8)は必ず記入してください。(9)～(11)は、気づいた事項があれば記入してください。

(1) 担当支部:	北海道支部	(2) 記載者氏名:	新妻徹	会員番号:	5868	事務局整理記入欄	北海道 - 49
分水嶺区分:	千歳市・苫小牧市境界 13.7～泉橋	(3) 山行日:	2004年	4月	15日	(4) 天候	晴

(5) 参加者氏名および会員番号

サポート要員氏名および会員番号

新妻徹	5868						
計				1名			
計				名			

(6) 山行記録・位置確認(出発点・ピーク・峠・到達点など、主要ポイントに関して)・所要時間・道の状況

コース概略:		R36(千歳市・苫小牧市境界 13.7)～泉橋											
アプローチ:		札幌 恵庭 千歳(往復)											
地点コード	地点名	2.5万分の1 地形図名	経度E			緯度N			高度 m	到着 時刻	出発 時刻	道の 状況	(8)～(11)の特記 事項等との関係
			度	分	秒	度	分	秒					
歩行開始点													
分水嶺到達点	13.7	千歳	141	42	27.4	42	46	13.2	13	7:50	8:00	A-1	8
	空港南柵	"	141	41	51.3	42	46	21.5	21	8:20	8:30	A-1	8
	空港南端	"	141	40	45.4	42	46	13.5	32	9:40	10:00	A-1	8
分水嶺離別点	泉橋	千歳	141	37	28.4	42	46	26.7	63	16:00		A-1	8・9
歩行終了点													
総歩行時間(休憩時間を除く):										7時間30分			
分水嶺距離										7.0km:その他距離 0km			

(7) 三角点の位置と保存状況

上記(6)の地点コードを記入してください	点名	等級	方位	保存状況	特記事項

(8) 人工施設の現況および地形図との相違点

新千歳空港資材運搬道路 立入禁止の標示板がある(千歳市・苫小牧市の境界、美沢川北側) 道央自動車道上の橋で空港泉沢大通(泉沢新千歳空港線)の標識がある。

(9) 水および植生に関連した特記事項

イタヤ、カツラ、カンバ、シナノキ、カラマツ、ミズナラなどの樹林帯が西へ延び、千歳川と勇払川の間には広大な分水流域を形成している。

(10) その他の特記事項

千歳湖を含む美々牧野と、千歳川の間には野鳥サンクチャリ(聖地)のウトナイ湖、丹治沼とともに日本で最も複雑な水系であり、千歳飛行場・新千歳空港の南端を大きく迂回して踏査した。

(11) 写真の添付:(有りの場合には、写真説明を記入してください)

写真説明: